

# 学校保健委員会だより

令和8年3月24日 発行

3月6日に第2回学校保健安全委員会がありました。学校医、学校眼科医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方、そして保護者を代表してPTAの役員さんに出席していただきました。

今回は、発育測定や健康診断の結果、環境衛生検査の結果、今年度行った保健指導、安全指導、給食指導などについて学校から報告しました。そしてみなさんから感想やご意見をいただきました。

## 〈PTAの皆様から〉



### 登下校の安全

- ・熱中症を防ぐために、クールスポットの設置、塩分タブレットなどいろいろな配慮があることがわかった。保護者も見守りや声掛けをしていきたい。
- ・登下校の様子を見ていて、危ないと思うことがある。車への安全指導を繰り返ししていく必要がある。



### 保健指導

- ・いろいろな指導をしてもらえてありがたい。
- ・はみがきの習慣がついた。
- ・子どもがけがをした時、適切な対応をしてもらえた。周りの子がすぐに先生を呼んで、気づかってくれてうれしかった。思いやりの気持ちが育っている。
- ・けがマップで、どこでけがが起きたかがわかるので、子どもに安全意識ができてよい。

### 食育

- ・学校で急いで食べているようだ。残量を減らすためにも、しっかり食べる時間をとってほしい。
- ・高学年男子の体重増加が大きい。食べ応えのある肉ばかりや濃い味に慣れてしまうと、生活習慣病にならないか、心配である。
- ・魚をしっかり食べないと、将来、病気のリスクが高くなる。
- ・魚は家であまり食べていないため、給食で残す子がいる。食育動画やクイズなどを通して、魚の栄養を教えていきたい。(栄養教諭)
- ・なぜ、その献立が考えられているのかを考えさせ、感謝の気持ちをこめて、食べてほしい。



## 〈学校三師の先生方から〉



### かぜ・アレルギー

(学校医 佐々木先生)

- ・保護者も先生も、朝、子どもの様子がいつもと違わないかチェックしてほしい。
- ・「～しなさい」「してはいけない」だけでなく、なぜ、それが大事かを子どもに教えることによって、予防の知識ができる。熱中症は、知識があれば防げる。
- ・アレルギー対応の研修をこれからもしてほしい。友達の異常に気付いて知らせるなどよかった行動があれば広めるとよい。



### 視力

(学校眼科医 丹羽先生)

- ・視力0.9以下が増え、近視は減らないだろう。
- ・近視の進行を遅らせるために、2時間外で遊ぶとよい。木陰でもいいので、太陽の光を浴びるとよい。
- ・メディア機器を20分見たら、20秒ぼんやり遠くを見るとよい。寝る時間が遅くないようにする。
- ・近視用の点眼治療薬は保険適用外であるが、使用が始まっている。近視が始まってすぐの時に効果がある。



### 歯科

(学校歯科医 加藤先生)

- ・虫歯と歯周病は減ったが、近視とアレルギーが増えた。
- ・子どもの時の虫歯の少ない人は、大人になってからも少ない。将来のプレゼントだと思ってしっかり歯みがきをしてほしい。



### 栄養や薬

(学校薬剤師 伊藤先生)

- ・日に当たると、ビタミンDの働きで骨が強くなる。
- ・薬は医師と相談して飲む。子どもだけの判断で飲ませない。
- ・薬物乱用を防ぐため、その危険性や誘われた時にどうするかを6年生で勉強することは大切だ。
- ・身近に相談できる環境が必要。
- ・親子のコミュニケーションを普段から大切にしておく。



〈担当〉保健主事 佐藤晴美

養護助教諭 加藤智子